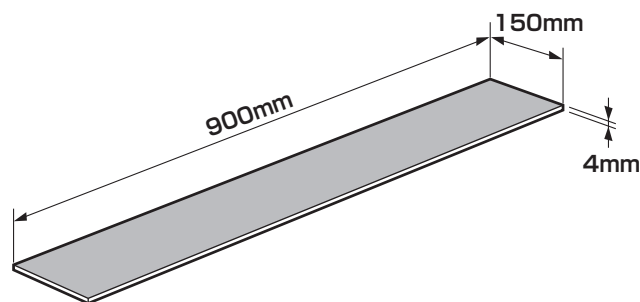


## 施工説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取付前には、本施工説明書を必ずよく読み、手順通りに正しく取付けてください。



### 梱包内容

製品サイズ：4×150×900mm

入り数：12枚/梱 (1.62m<sup>2</sup>) または  
24枚/梱 (3.24m<sup>2</sup>)

施工説明書：1冊

本製品は、手軽にできる床を覆うフローリング材です。今ある床の上から取付けることができます。

### もくじ

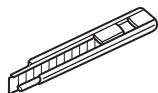
1. 安全上のご注意	1
2. 使用にあたってのご注意	1
3. 下地の準備をする	2
4. 取付けかた	3
5. 日常のお手入れについて (未永くお使いいただくためのお願い)	裏表紙
6. 廃棄上のご注意	裏表紙
7. 保証について	裏表紙

### 取付けできる床面

- ツルっとした平滑な床面  
(裏面の吸着材がくっつきやすい)
- 平滑な仕上げの木質床材  
(塗装仕上げ、シート化粧したフローリング)
- 平滑な仕上げの樹脂系床材  
(クッションフロア、Pタイル)

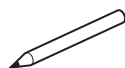
### 取付ける際に必要な道具

#### ● カッターナイフと替え刃



※丸ノコを使用することもできます。

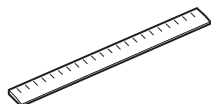
#### ● 鉛筆



#### ● メジャー

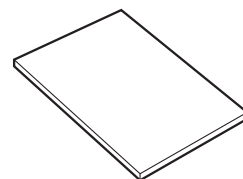


#### ● 長めの定規 (30cm程度)

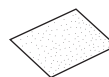


#### ● カットボード

(カッターナイフで作業するとき、下地へのキズつきを防止するもの)



#### ● サンドペーパー(#120程度)

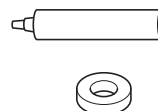


#### ● 手袋



#### ● クリアコーキング、 マスキングテープ


(必須ではありません。さらにきれいに仕上げたい場合にご使用ください。)






# 1. 安全上のご注意

この製品を末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実な取付けをするために、以下のことを必ず守ってください。






## 警告表示の種類と内容

	<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	---------------------------------

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など
---	-------------	---	----------------	---	-----------------------

## 注意

-  以下の場所には取付けないでください。  
裏面の吸着材で床面に吸着させて使用しますので、既存の床面に十分に吸着せず、浮き上がりや段差が生じた場合、つまずいてけがをすることがあります。
  - ・ 段差（0.5mmを越えるもの）や不陸（表面が波打って見えるような床）
  - ・ 凹凸がある床面
  - ・ 表面に損傷のある床面
  - ・ ゴザゴザしている面や変形する面（平滑であっても裏面の吸着材がくっつきなかつたり、固定後に変形したりはがれたりします）
  - ・ 木質下地材（合板、針葉樹合板、MDF、パーティクルボード、OSB（配向性ストランドボード））
  - ・ 畳、カーペット、無垢材（上記条件に当てはまるもの）、クッション付き防音床材
  - ・ クッションフロアの梨地調（細かな凹凸がありザラザラ）
-  本製品は一般住宅用です。以下の場所には使用しないでください。  
床面が破損した場合、けがをすることがあります。
  - ・ 土足用や歩行頻度が高い店舗・事務所用、屋外用
  - ・ 強度の不十分な床面（床鳴りしたり、異常なたわみがある床面）
-  床暖房の仕上げ材としては使用しないでください。  
床暖房が組込まれている仕上げ材の上には取付けしないでください。
-  本製品の取付作業は、室温が10℃以下の場合はおこなわないでください。  
室温が低いと吸着が不十分になり、浮き上がりや段差が生じて、つまずいてけがをすることがあります。
-  湿気の影響による製品の伸びを考慮し、製品と壁面とのすき間を4mm程度開けてください。

# 2. 使用にあたってのご注意

- 電気（ホット）カーペットを使用しないでください。  
使用すると製品どうしの継ぎ目に大きなすき間が発生します。また、温風ヒーターの風を直接当てないでください。
- 金属製のキャスターや球状キャスターの使用はしないでください。  
キャスターの種類や荷重、頻度などの使用状況によっては、凹み傷や表面剥離が生じる場合があります。
- 座イスを使用する場合  
背もたれと座面の接合部分などで、床材表面にキズがつく座イスがあります。そのような座イスは使用しないでください。
- マット、カーペットの固定に両面テープを使用しないでください。  
はがすときに床材表面をキズつけるおそれがあります。
- 本製品には裏面吸着材を使用しています。  
吸着材にはクッション性があります。歩行時に柔らかく（クッション感）感じたり、テーブルなどを置いた脚部に沈みが発生したりすることがありますが、製品の特性としてご理解ください。
- 床材を長時間水にぬらしたまま放置した場合  
本製品のシミ、シワ、腐食などの発生や、既存床面を変色させるおそれがあるだけでなく、滑りやすく危険ですので速やかに拭取ってください。
- 水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください。  
キッチンシンク前、洗面台前、浴室出口前のように、常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。

## 2. 使用にあたってのご注意

### ●取付後に重量物を本製品上に置く場合

必ず敷板などを使用し、重量を分散させてください。  
(目安4kg/cm<sup>2</sup>以下)

※敷板の目安としては、アップライトピアノ4.3cm角(直径4.9cm)以上、グランドピアノ6cm角(直径6.8cm)以上。

### ●テーブルやイスの足元に、フェルトなどを付けて床材表面を保護してください。

引かずると、床材表面を損傷するおそれがあります。

※ゴムキャップは、種類により床材を汚染するものがありますのでご注意ください。

### ●車イスを使用する場合

車イスの繰り返しの使用や、車イスの材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れがつくことがあります。

屋外でご使用になった車イスを乗り入ると、付着した土砂のため、床表面にキズがつくことがあります。付着した土砂はよくはらってください。

●本製品は、ペットの肉球の滑り抵抗を考慮しておりますが、**全てのペット(犬、猫、鳥)など、歩行に最適とは限りませんのでご注意ください。**また、本製品上でペットが糞尿をした場合、本製品および本製品の下地である既存床を汚損するおそれがあります。速やかに拭取ってください。

### ●部分的に浮きが発生した場合

踏み込んで吸着しない場合は、下地に部分的なふくらみがある可能性があります。製品を取外して下地を確認していただき、ふくらみがある部分を平滑になるように、カンナ、サンドペーパーなどで削ってから取付けてください。再度取付けても浮きが発生する場合は、吸着部分が弱くなっています。新しい製品への交換をおすすめします。

また、不陸(表面の凹凸)の大きい場所での取付けで製品が浮く場合は、凹み部分に両面テープ(市販品)などを使用することで改善できる場合があります。

## 木質床材の特性としてご了承いただきたい現象

### ●床鳴り

床鳴りは音の程度にもよりますが、床材の継ぎ目部分がかすれて音が発生していることが考えられます。これは木の性質としての調湿効果が働き、伸び縮みが生じることで発生する現象です。製品の性能、使用上特に問題ありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れをされた場合などでも起こりますので、裏表紙「5.日常のお手入れ(末永くお使いいただくためのお願い)」をご確認ください。また、ワックスや表面コート剤の塗布、下地条件などでも発生する場合がありますのでご了承ください。

### ●反り・突き上げ・目すき・波打ち

木質材料の特性上、反りや突き上げ(継ぎ目部分の盛り上がり)、目すき(継ぎ目部分にすき間ができる)、波打ちが発生することがあります。木質材料の特性上、発生する現象ですのでご了承ください。

### ●退色・変色などの経年変化

床材を長く使用していると経年変化により「退色」したり「変色」したりすることがあります。光や熱があたる部分とあたらない部分(特に窓際のカーテンとサッシの間など)で色合いに差が生じることがあります。

## 3. 下地の準備をする

掃除機や雑巾を使い、床面のホコリや汚れをきれいに取除いてください。

### ⚠ 注意

❌ ホコリや汚れが付いたままで、取付けをしないでください。吸着材がつかみません。

製品に浮きが発生し、浮いた部分でつまずいてけがをするおそれがあります。

❌ 水濡れしたままの下地には取付けしないでください。水分が吸収されて製品の腐食の原因となります。

❗ 取付ける床面に段差や床鳴りがないことを確認してください。

床面の段差は0.5mm以内とし、段差がある場合はカンナ、サンドペーパーなどで平滑に調整してください。(0.5mmは一般的なコピー用紙で6~7枚分が目安になります)



# 4. 取付けかた

## お願い

〈本製品を使用する場所で扉を開閉する場合〉

- 扉を開閉し、扉の下と床面に最低10mm以上のすき間があることを確認してください。



〈突き合わせた部分に段差が発生する場合〉

- 本製品は突き合わせて取付けるため、既存の床材がある程度平滑であっても、段差が発生する場合があります。段差が気になる場合は、一度取外してから、床材の表面部分に凹凸のないことを再度確認してください。

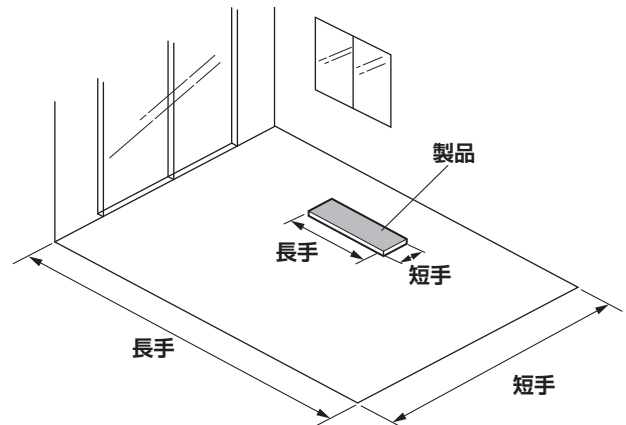
〈本製品を、部屋の一部分に取付ける場合〉

- 段差の部分には足を引っかけたりしないよう、段差を解消する部材(別売)を使用してください。
- 既存床材の継ぎ目の上に、本製品の目地が重ならないように取付けてください。  
目地部分が重なると本製品が、既存の床材の動きに追従して継ぎ目が大きくなることがあります。位置を調整して取付けてください。
- 本製品は裏面吸着材により、既存の床材に吸着させて使用してください。  
本製品を取外した場合、既存の床材によっては汚損する場合がありますので、ご了承の上、取付けてください。

## 1. 取付け方向を決める

製品を取付ける向きを決めてください。

※ 取付ける方向は自由ですが、一般的には部屋の長手方向に製品の長手を合わせます(部屋を広く見せる効果があります)。



## 2. 仮置きして取付け位置を決める

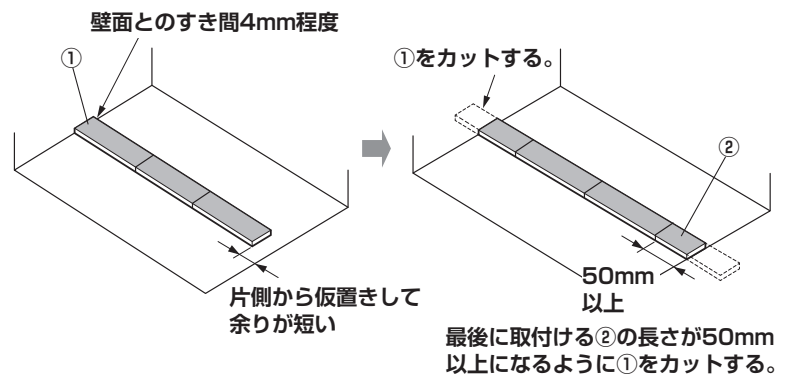
裏面の透明フィルムをつけた状態で仮置きをしてください。長手方向の余りが極端に短かったり、短手方向の幅が細くなったりしないかを確認します。

### 1. 長手方向に壁の両端まで並べてください。

最後製品の長さが短く(およそ50mm以下)なる場合は、最初に取り付ける製品の長さを調整する必要があります。

また、壁面とのすき間は、4mm程度開けてください。

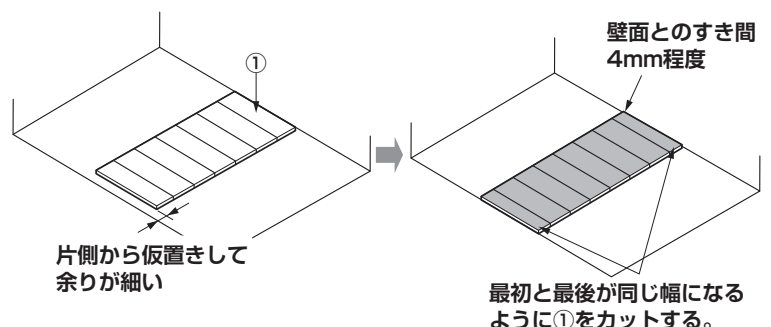
※ 製品を利用して、壁面へ立てた状態で押し当てると、4mm程度のすき間になります。



### 2. 短手方向に壁の両端まで並べてください。

最後に取付ける幅が細くなる場合は、最初と最後に取付ける製品の幅が、同じになるように位置を調整します。

長手と同様に、壁面とのすき間を4mm程度開けてください。

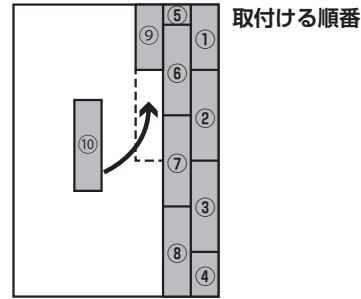


### 3. 取付ける順番を決める

取付け方法は、下記の2種類があります。

#### 〈壁側から取付ける場合〉

右図の数字の順番に取付けてください。

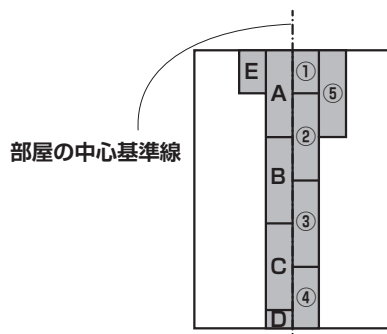


#### 〈部屋の中央から取付ける場合〉

部屋の中心に基準線を引き、左右同時に取付けてください。

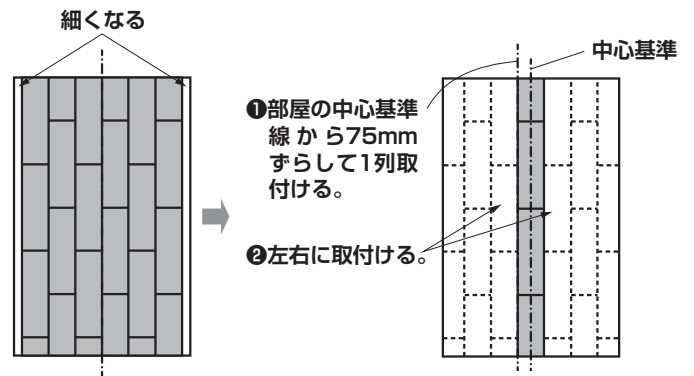
※ 部屋の大きさが16畳を超える、大きな部屋での取付けにおすすめです。

※ 中心から取付けることで左右のゆがみを抑えることができます。



#### 最後に取付ける両壁際の幅が細くなる場合

中心位置を75mmずらしたところに1列目を取付けてください。その後左右に分かれながら取付けていきます。



### 4. 製品をカットする

#### ⚠ 注意

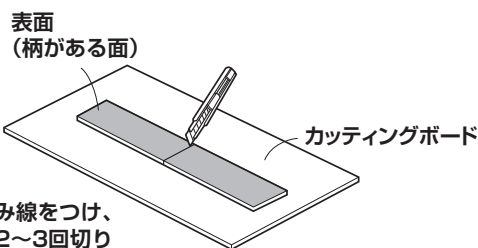
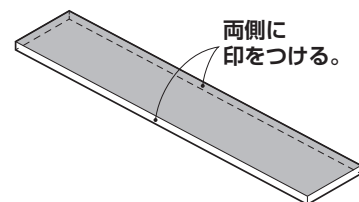
- ❗ カッターナイフでけがをしないように手袋を着用してください。
- ❗ サンドペーパーを使用する場合は、マスクを着用してください。
- ⊘ 表面にカッターナイフで切り込みを入れる場合は、滑りやすいので注意してください。

#### 🙏 お願い

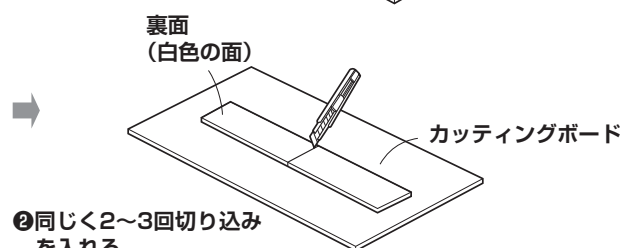
本製品をカットするときは、カッティングボードなどの上で作業してください。既存の床材を破損するおそれがあります。カッターナイフの刃がサビていたり、切れ味が悪い場合は、新しい刃に交換してから作業をしてください。

※ 裏面の透明フィルムを付けた状態で作業してください。

1. カットしたい位置の両側面に印をつけてください。
2. カッティングボードの上に置き、定規とカッターナイフを使用して切り込みを入れてください。



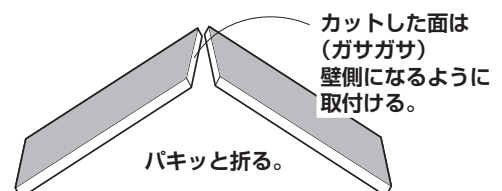
- ① 軽く切り込み線をつけ、徐々に強く2~3回切り込みを入れる。



- ② 同じく2~3回切り込みを入れる。

3. 製品を折り曲げて、パキッと折ってください。

カットした面は「ガサガサ」になっています。サンドペーパーで軽くこすって平らにしてください。※ カットした面が壁側になるように取付けます。



## 4. 取付けかた

### 5. 1列目の取付け

#### ⚠ 注意

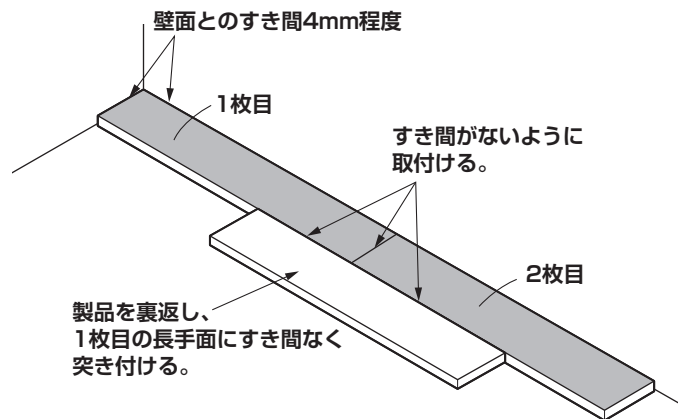
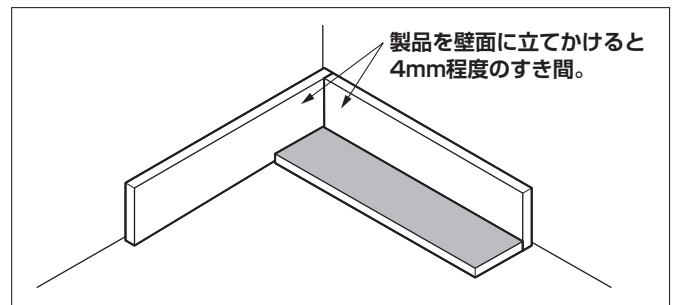
- ❗ 本製品の裏面フィルムは、必ずはがして取付けてください。  
吸着せず床材が変形したり、場合によっては滑って転倒し、けがをするおそれがあります。

#### お願い

取付けの1列目は、必ずまっすぐになるように調整して取付けてください。  
下地に基準となる線を書くか、製品を当てながらすき間がないように取付けてください。

1. 取付け位置に合わせて製品を置き、全体を押さえ、しっかり吸着させてください。

- ※ 壁面とのすき間は、4mm程度開けてください。  
製品を壁面に立てた状態で押し当てると、4mm程度のすき間になります。
- ※ 押さえ後は、下地と吸着して製品が動かないことを確認してください。



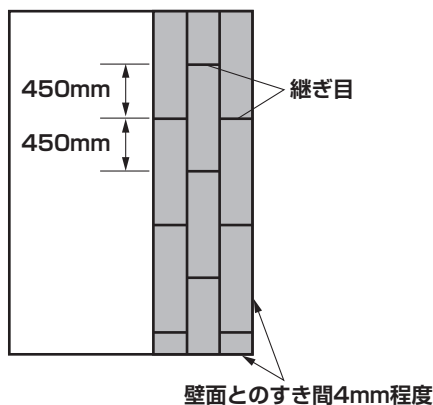
2. 2枚目は基準線に合わせるか、製品を裏返しにして当てながら、すき間がないようにまっすぐに取付けてください。

### 6. 2列目以降の取付け

1. 1列目の短手の継ぎ目位置に、2列目の継ぎ目位置が合わないよう取付けてください。

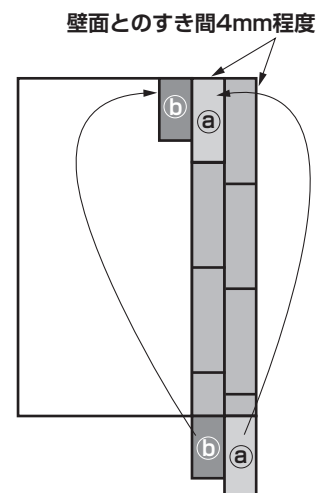
取付けかたには下記の2種類の方法があります。

〈450mmずらして取付ける場合〉



〈流し貼りで取付ける場合〉

効率よく材料を使うために、カットした材料を反対側にそのまま使用して取付けることもできます。

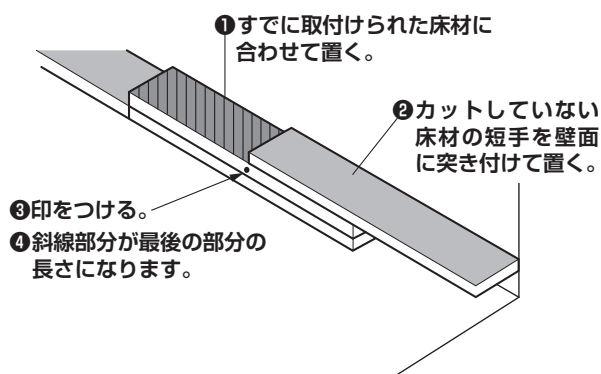


## 2. 最後の列を取付けてください。

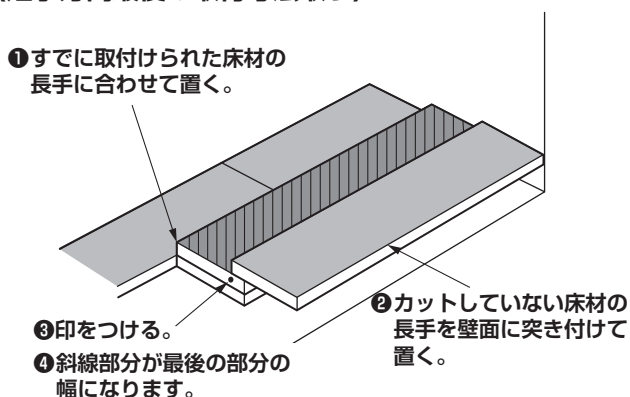
1枚ずつ採寸するか、下記を参考にカットして取付けてください。

※壁面とのすき間は、4mm程度開けてください。

### 〈長手方向最後の取付寸法取り〉

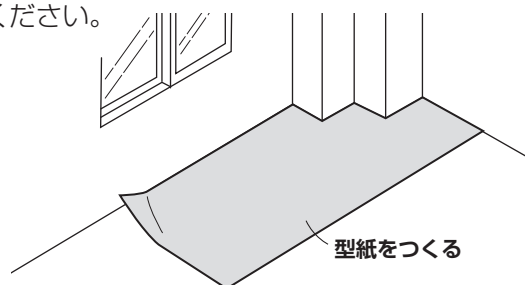


### 〈短手方向最後の取付寸法取り〉



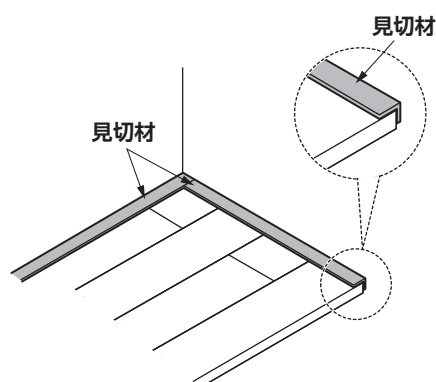
### 〈複雑な部分の寸法取り〉

複雑なカットが必要な場合は型紙をつくり、床材に書き写してください。



## 7. さらにきれいに仕上げたい方は

本製品と壁のすき間が気になる場合は、見切材(別売/カタログ掲載)、またはシリコン充填剤(別売/ホームセンターなどで購入可能。クリア推奨)ですき間を埋めると目立たなくなります(必須の作業ではありません)。



## 8. 完了

- 取付後の養生期間は必要ありません。家具などをすぐに置いていただいても問題ありません。
- 本製品上で別の作業をする場合は、キズつき防止の養生をしてください。

# 5. 日常のお手入れについて (未永くお使いいただくためのお願い)

## お願い

- ワックス掛け、厚塗りコート剤(コーティング)はしないでください。  
ワックス掛けされると、ワックスにより床材表面本来の性能や質感が損なわれます。
- スチームモップは、床材を傷めますので使用しないでください。
- 化学雑巾は使用しないでください。  
化学雑巾の種類によって、含まれる成分で床材の性能が発揮されなくなったり、表面が白化したりするおそれがあります。
- 床材の表面のお手入れは速やかに拭取ってください。  
床材表面に、汚れが付着するとシミの原因となるおそれがあります。

お手入れは次の方法でおこなってください。

- ・日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- ・汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

## ◻ 汚れを落とすときのご注意

酸、アルカリ性洗剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。  
変色するおそれがあります。

## 使える洗剤と道具

- ・中性洗剤
- ・細繊維布
- ・柔らかい布

## 使ってはいけない洗剤と道具

- ・酸性、またはアルカリ性の塩素系洗剤
- ・研磨剤入り洗剤
- ・シンナー/ベンジン
- ・研磨剤入りスポンジ
- ・たわし/金たわし

# 6. 廃棄上のご注意

本製品(表面材:樹脂(オレフィン)シート、基材:木質材料、裏面:不織布とアクリル樹脂発泡体)、裏面透明フィルム(プラスチックフィルム)を廃棄する際は、法律および地方自治体の規制に基づき適正に処理してください。

# 7. 保証について

対象製品	本製品
保証事項	外観上著しい変形・変質(反り、ハガレ、中層ハクリ)が生じないこと(既存床面との吸着面は除きます)弊社指定の施工場所に、施工説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、上記事項を保証します。なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。 【保証箇所】基材、表面
保証期間	購入後より1年間 ※保証期間とは、弊社製品購入後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。保証期間を経過したものは有料となります。
免責事項	製品の不具合が下の①~⑩のような場合には、保証期間内であっても有料対象となります。 ①建物の設計・施工に起因する不具合 ②施工説明書で禁止されている内容に起因する不具合 ③自然現象・周辺環境など(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合 ④室内であっても部屋の内外の温湿度が著しく違う部位に取付けられたことによるすき間・反り・キシミ音などの不具合 ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿または低温・乾燥となる部位に取付けられたことに起因する不具合 ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修などに起因する不具合 ⑦購入者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合 ⑧施工説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、摩耗、破損、変形などによる不具合 ⑨経年変化による通常一般的な当該保証対象品の変退色、汚れ、サビ、かび、劣化摩耗などの不具合 ⑩用途外に使用された不具合(例えば、屋内用のものを屋外に、一般内装用を店舗や事務所に、床暖房用仕上げ材に使用した場合など) ⑪犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害に起因する不具合や、クイムシなどの虫害に起因する不具合 ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で、購入後速やかに(7日以内)申し入れがなかった場合 ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 ⑭製造時に実用化されていた技術では、予想することが不可能な事象に起因する場合 ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費 ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合 ※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <http://www.daiken.jp/>

製品のお問い合わせ・ご相談は 三重工場 事業企画課へ

☎ 059-255-0647

受付時間:平日9:00~17:00  
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休み)